

安城市における環境施策等について

①SDGs未来都市

安城市が進める「**安城市ならではの公民連携によるウェルビーイングな脱炭素社会の実現**」に向けた取組みが内閣府から認められ、「SDGs未来都市」に選定されました。

SDGs未来都市とは、内閣府が選定する、「SDGsの理念に沿った基本的総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域」のことです。



▲選定証授与式の様子（令和4年5月20日）



▲健幸（ケンサチ）はSDGs

2

環境

2030年のあるべき姿
資源・エネルギーが
循環するまち



もりづくり

長野県根羽村との連携

- ・広域・公民連携による持続可能な林業推進事業
- ・次世代SDGs・森林教育交流拠点整備推進事業

持続可能な目標
官民連携による
脱炭素地域の実現

エネルギーづくり

資源・エネルギーの循環利用推進

- ・廃棄物焼却処理施設のエネルギーセンター化推進事業
- ・リユース・リサイクル推進事業

しごとづくり

脱炭素型次世代産業の育成

- ・次世代モビリティ産業構築事業
- ・農業イノベーション推進事業

しくみづくり

向上に資する地域エネルギー事業の推進

- ・自立分散型地域エネルギーシステムの構築事業
- ・地域新電力事業の展開事業

社会

2030年のあるべき姿
人が参加し、
支え合うまち



ひとづくり

長野県根羽村との連携

- ・SDGsの基礎～金融まで、誰もが学べるSDGs推進事業
- ・体験型SDGs推進事業

まちづくり

脱炭素型社会の 基盤づくり

- ・スポーツ健康まちづくり
- ・住民参加型の地域経営推進事業

持続可能な目標
社会市民・事業者・行政の
共創により実現する
日本一住みやすい
まちの実現

目指す姿
安城ならではの
ウェルビーイングな脱炭素社会

経済

2030年のあるべき姿
おかねが地域で生まれ、
まわるまち



持続可能な目標
地域の伝統と
革新の融合による
新たな地域内経済循環を
創出するまちの実現

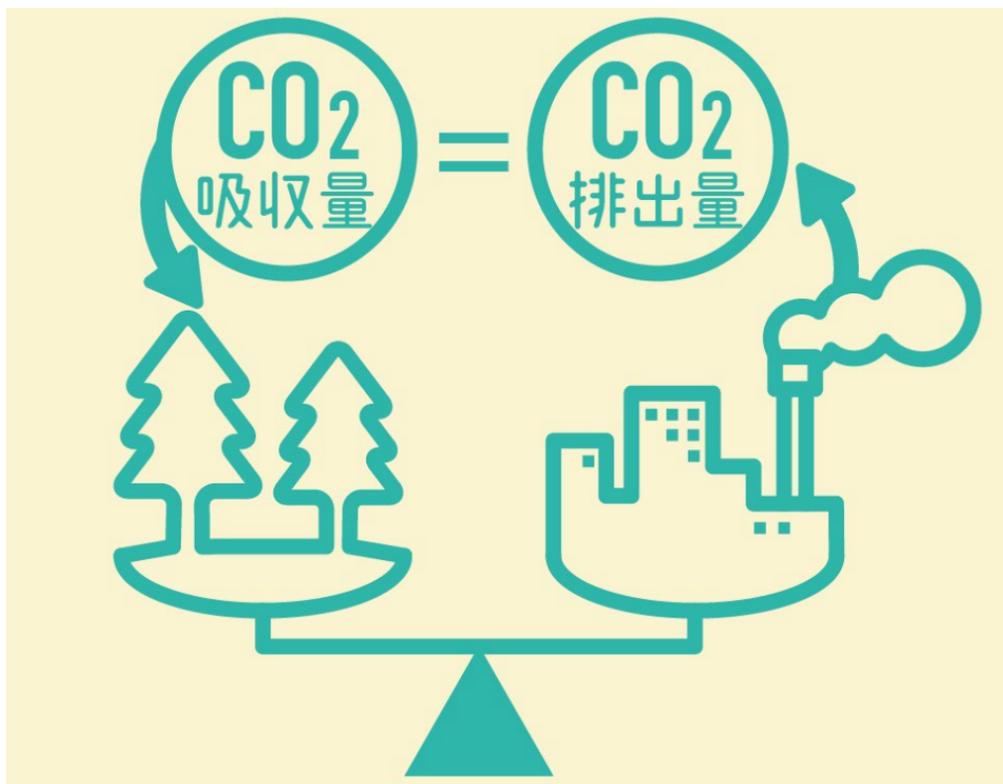
関係

公民連携の
仕組み
DX

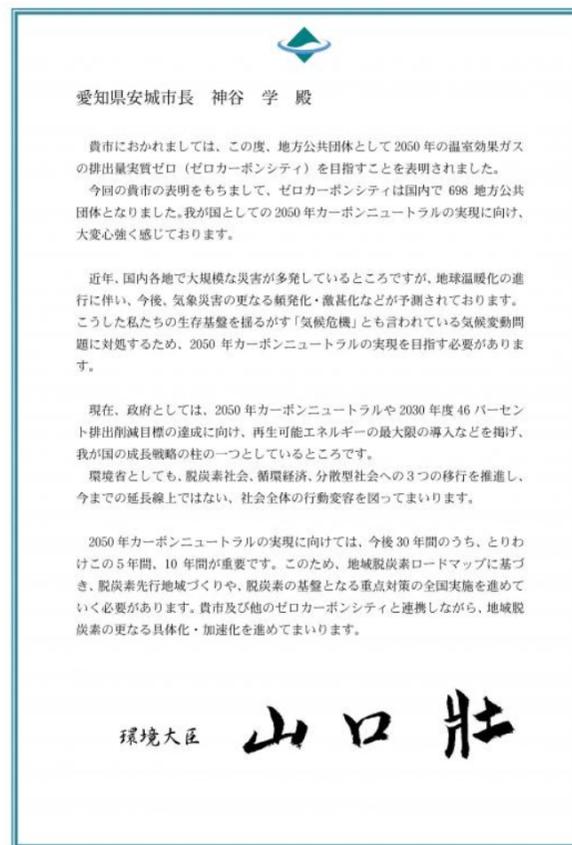


② ゼロカーボンシティ表明

本市は、令和4年5月8日の市制施行70周年発展際において、2050年の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す自治体（ゼロカーボンシティ）として、市民・事業者の皆さまと共に脱炭素社会の実現に向けて取り組むことを表明しました。



▲ 2050年カーボンニュートラル

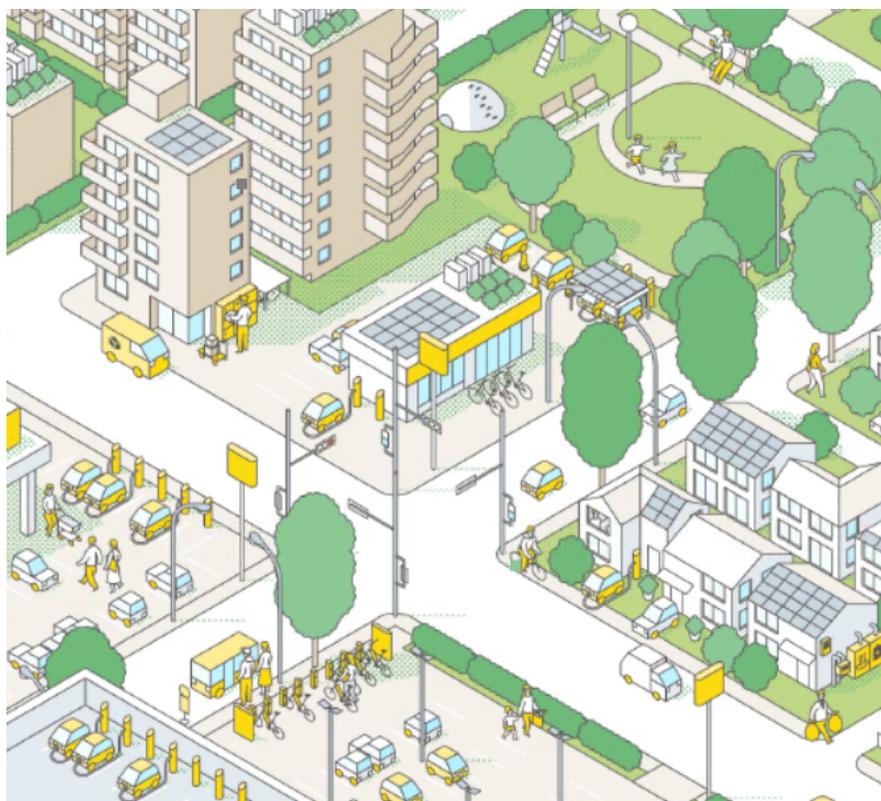


▲ 環境大臣よりメッセージ

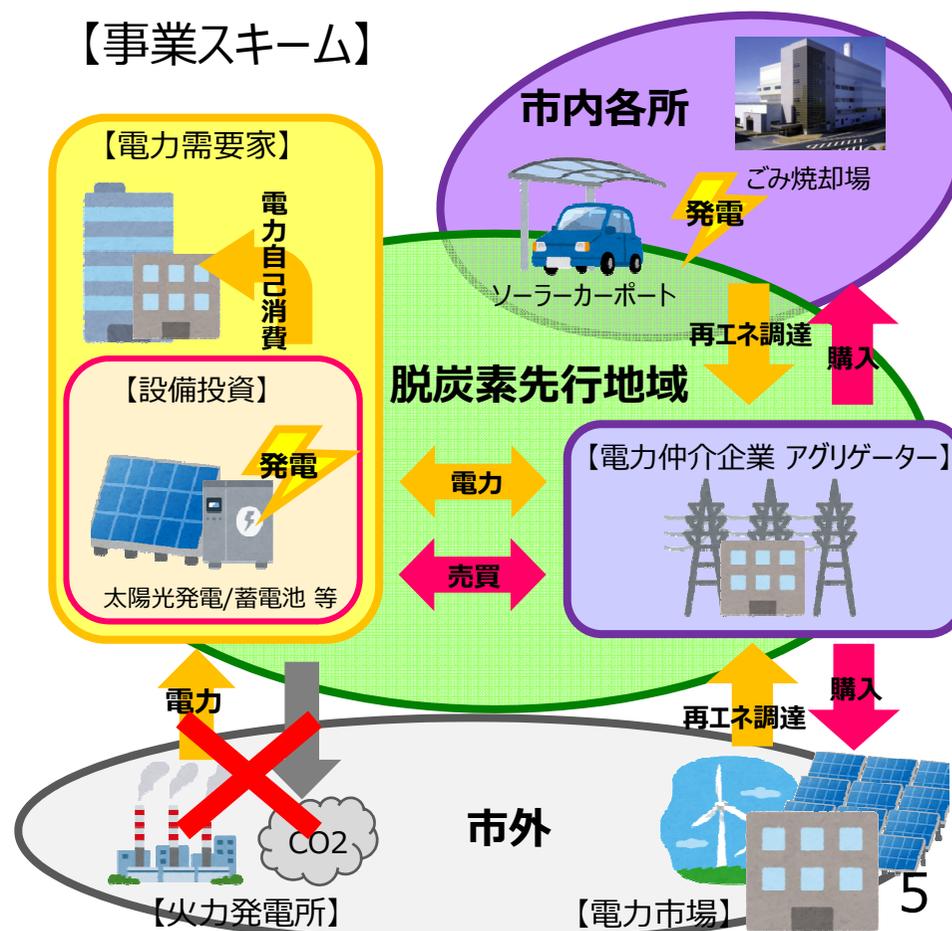
③ 安城市脱炭素先行地域への応募について

脱炭素先行地域とは・・・2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域。

【先行地域イメージ】



【事業スキーム】



④ グリーンイノベーション基金事業への応募について

- ・エネルギー・産業部門の構造転換や、大胆な投資によるイノベーションの大幅な加速を目指すもの。
- ・**2兆円**のグリーンイノベーション基金事業において、**官民で野心的かつ具体的な目標を共有した上で**、これに経営課題として取り組む**企業**に対して、**10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する。**

